



## 圏域別ネットワーク会議が開催されました

～子供たちが安全に安心して生活することができるように～

各圏域（大河原・仙台・北部・東部・気仙沼）において、教育事務所が主催する「安全教育総合推進ネットワーク会議」が開催されました。

圏域ごとに、市町村防災担当部局や警察署、消防署、教育委員会、安全担当主幹教諭等が参加し、地域ぐるみの学校安全の推進に向けて、情報共有を行いました。



### 【参加者の感想（一部抜粋）】

- 繋がりがなければ知る事ができない取組や、課題解決に向けた方策が共有される事で、知見を広げる事ができた。
- 各関係機関が適切に連携し合い、顔が見える連携の第一歩であることを実感できた。
- 不審者の対応について児童からの聞き取り、警察との連携等を具体的に聞くことができ、今後の対応に活かしていくことができる。
- 自分には思いつかない視点や考えを聞けて、視野を広げることができた。



## クマ出没警報発令中！

— 6月28日（金）から7月31日（水）まで —

県に寄せられた令和6年6月のツキノワグマ目撃等件数が、過去5年の平均と比べ、大きく増加していることに加え、例年7月は1年で最もクマの目撃等件数が多い傾向にあるなど、クマによる人身被害のリスクが高まっていることから、クマ出没警報が発令されています。

### 《クマと遭遇しないために》

- ☑事前に新聞・ラジオ等のマスコミ情報や地元市町村等からクマの目撃等情報を入力し、危険なところには近づかない。
- ☑クマ鈴やラジオを携帯して音を鳴らしたり、皆で大声でしゃべったりしながら歩く。

【ツキノワグマの被害に遭わないために（宮城県WEB）】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/kumatyuui.html>



# 学校防災アドバイザーによる避難訓練訪問

6月11日に、今年度開校した秋保かがやき支援学校で地震・火災を想定した避難訓練が行われました。先生方は、一人一人が安心できるよう寄り添って声を掛け、誘導していました。

避難訓練を通して見えてきた課題もありました。避難経路、避難場所については、様々な災害特性に応じ複数設定しておく必要があります。学校では、アドバイザーからの助言を基に、マニュアルの改善を行っていきます。

各学校においても、マニュアルは作って終わりではなく、訓練等の反省を基に常に見直し・改善を行うようお願いします。



学校防災を推進する中で、防災マニュアルの見直し、地域と連携した取組等で困りごとはありませんか？

まずは、学校安全・防災班（022-211-3669）までご相談ください。

学校防災アドバイザーにかかる費用は無料です！

## 第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール作品募集中！！

東日本大震災から13年が経過し、特に、児童・生徒が震災を知らない世代となっています。このため、東日本大震災をはじめとする過去の災害の記憶と教訓に触れ、自分事として捉えられる機会を創出することで、次なる災害が起きた際に、命を守る行動に生かせるよう、「みやぎ災害伝承ポスターコンクール」を今年度も開催します。

<応募締切>

令和6年9月13日(金)

必着

【応募・問合せ先】

宮城県復興・危機管理部

復興支援・伝承課震災伝承班

TEL：022-211-2443

(直通)

第3回 みやぎ災害伝承ポスターコンクール 作品募集!!

今年から小学校部門を低学年と高学年に分け、4部門で実施します!!

応募締切 令和6年9月13日着

前回の主な受賞作品 (最優秀賞)

- 小学校の部 丸森町立雄飛小学校6年 富田 めぐるさん
- 中学校の部 大和町立宮中中学校2年 関 綾香さん
- 高校の部 宮城県宮城野高等学校2年 小野 梨々子さん

過去の受賞例

お問い合わせ：宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課 TEL:022-211-2443 (直通)



【第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール詳細（復興支援・伝承課 WEB）】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/densho/saigaidensho-poster.html>

※ 受賞作品は、県内伝承施設等に配布する災害伝承の啓発ポスターなどに使用するほか、県内施設やみやぎ東日本大震災津波伝承館等で展示するなど、災害伝承の広報・啓発に幅広く活用されます。